



第2回大規模災害対策協議会を開催しました！

2025年9月29日（月曜日）に第2回大規模災害対策協議会を日本赤十字社千葉県支部の会議室で開催し、日本赤十字社千葉県支部から4人、協議会から事務局、オブザーバー合わせて12人、合計16人で懇談をおこないました。今回は災害時の協定を締結している日本赤十字社千葉県支部とお互いの活動を報告し、意見交換をおこないました。



全体の様子

はじめに、日本赤十字社 千葉県支部 野村事業部長より、いつ起こるか分からない災害に備えて引き続き連携を強化していきたい旨のあいさつがありました。続いて、千葉県生協連尼崎専務より、能登半島地震の教訓からも災害時に迅速に対応できるように日頃から日赤さんや関係団体と顔の見える関係づくりをすすめていきたいとあいさつがありました。

次に金子係長より令和6年における日本赤十字社千葉県支部の活動、及び令和6年能登半島地震における日本赤十字社の被災者支援活動について以下の内容の報告がありました。

- ① 大規模地震や風水害に備え、医療救護班等を常備し、研修や訓練を通じて、災害医療に必要な知識・技術の向上や防災関係機関との連携強化、命を守る知識と技術の普及をおこなっていることの報告がありました。また、赤十字奉仕団、青少年赤十字への支援、赤十字の国際活動、障がい者へのサポート強化の取り組みについて報告がありました。
- ② 能登半島地震における日本赤十字社の対応について、職員派遣、救援物資の提供、ボランティアの活動、災害義援金の受付等をおこなったことの報告がありました。千葉県支部からも輪島市内の2か所の避難所にボランティアを5名派遣し、被災者支援活動を実施したことの報告がありました。

続いて、日本生協連中央地連の佐藤担当より能登半島地震・奥能登豪雨災害の支援活動について報告がありました。日本生協連ではコープ被災地支援センターを中心に被災地に寄り添ったくらしやコミュニティ再建への息の長い支援活動をおこなっている旨の報告がありました。続いて、千葉県生協連、パルシステム千葉、コープデリ連合会からそれぞれの取り組みが報告され、懇談をおこないました。

次回開催日は改めて日程調整をおこないます。

以上